



川口市議会議員

谷川けい子

ホームページ: info@tanikawakeiko.net

E-mail: info@tanikawakeiko.net

プロフィール:

元学習塾経営、主任児童委員(3期)、不登校・ひきこもり支援に取り組む(ボランティア団体)

所属委員会審議会: 議会運営委員会・福祉環境常任委員会・生活福祉教育特別委員会・科学館運営審議会・緑化対策委員会等

■ 災害に備える

国の中央防災会議は、予想される首都直下型地震等、首都圏における今後30年間で震度6以上の揺れに見舞われる確率を地図上で示す全国地震動予測を発表しました。さいたま市直下の予測はM6.8とされていますが、川口市内においてはそれぞれの地域の歴史から地理的形状などにより、想定される被害は違うものになると考えられます。それぞれの地域でどのようなつながりを持って、被災した時の対処の仕方を考えておくべきか、準備が必要であることは確かです。

〈防災ゲーム「クロスロード」〉

準備のために、川口ではカードを使った防災ゲーム「クロスロード」を広めています。これは、阪神淡路大震災を経験した神戸市役所や大学、ボランティア達の被災経験からこの防災ゲームが生まれました。地域住民が協力して、どのように非常事態に立ち向かうのかゲームを使って学びます。これから迎える高齢社会の中で、孤立することは危険です。お互いにできることは力を合わせて補い合っていきましょう。また、災害に対する個々の備えも重要です。いつも必要なものは、手元におき、最低限の食料や水を備蓄しておきましょう。一人ではできなくても、みんなで協



「問題カード」と「イエス・ノーカード」

力すればできることもあります。昨年の漢字は「輪」でした。地域つながりで仲間を作りましょう。体の不自由な人やお年寄り、障がいのある方など、1人では対応が難しい人達への配慮も忘れないでほしいと思います。誰もがいずれ通る道です。

■ 将来の担い手支援を!

戦後60年余りが経ち、社会は裕福になったにもかかわらず、格差は広がり、学ぶことすら危ぶまれています。学校では不登校が増え、家庭内でも虐待や養育放棄など、社会のひずみが子ども達若者たちへと及んでいます。将来、社会を支える人達が、自立できないような状況では困ります。学校、家庭、地域、そして行政のあらゆる機関や企業などが、もっと若者に対して思いやりと人間味ある温かいまなざしを持って、導き、育ててほしいと願います。

私も議員として多くの皆様に支えられ、育てられ、これまで活動を続けられました。明るい未来を作るため、本年もどうぞよろしくお願いいたします。



川口市議会

2014年新春号

市政クラブ 議会通信

発行元: 川口市議会市政クラブ

発行責任者: 野口宏明



謹んで年の初めのご祝詞を申し上げます。

皆様には、ご家族そろって、清々しい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。私たちは昨年6月に市議会議員3名で新会派を結成し、議会活動ができることとなりました。ここに深く感謝申し上げます。会派の名前は「市政クラブ」と申します。

私たち市政クラブ所属議員は、自主自立の地域社会を目指し、川口市の発展のため研鑽と政策提言を行い「公正・公平な社会づくり」、「生活環境の整備」をはかり、住民の声を市政に反映し地方議会の役割である政策形成能力と行政監督能力を十分発揮させることが大切であると考えております。

今後も尚一層のご指導とご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

さて、去る11月29日から12月20日まで、12月市議会定例会が開催されました。今議会、予算議案につきましては、一般会計において258億4,489万8千円の補正を、また、特別会計では国民健康保険事業をはじめ3会計で7億1,353万6千円の補正、病院事業で2億4,737万2千円の補正が、それぞれ計上されました。

次に一般議案であります。川口市立青少年センター設置及び管理条例の一部改正条例、川口市庁舎建設審議会条例を廃止する条例、川口市新庁舎建設基本構想・基本計画審議会条例などの条例議案6件、財産の取得議案1件、市道路線の認定・廃止議案4件、川口市土地開発公社定款の一部変更、第三セクター等改革推進債の起債に係る許可申請、新庁舎の建設位置の同意など23件が上程されいずれも慎重審議の末、原案可決をしました。

これからも、安心安全なまちづくりのため活動してまいります。どうぞ、さらなるご支援をお願いします!!



昨年11月12日、市政クラブから故・岡村前市長への来年度予算要望を、提出しました。

なお、岡村前市長は昨年12月25日に急性腎不全で急逝されました。ここに、生前のご功績に敬意を表するとともに謹んでご冥福をお祈りします。

左より野口代表、谷川幹事長、光田議員、岡村前市長



川口市議会議員

野口ひろあき

ホームページ: www.h2.dion.ne.jp/~noguchi/h
E-mail: noguchi.h@h6.dion.ne.jpプロフィール: 1957年11月5日生まれ
鳩ヶ谷小/鳩ヶ谷中/蕨高/上智大学文学部新聞学科卒 広告代理店勤務を経て現職
鳩ヶ谷市議(4期)、議長、総務・予算・決算・環境センター問題調査特別・議会改革 各委員会委員長を歴任 川口市議(市政クラブ代表)
川口法人会理事、鳩ヶ谷商工会理事、川口市空手道連盟副会長、鳩ヶ谷ロータリークラブ会員、学校法人松陰学園みのり幼稚園事務長

■ さらなる融和を目指して

川口市と鳩ヶ谷市が合併して2年有余。合併当初、旧鳩ヶ谷市民には、とまどう場面も多くありました。しかし、行政側の「一体感の醸成」を目指した各種取り組み、さらには市民の皆様のご理解・ご協力により、徐々に合併当初の「違和感」も解消されつつあると思います。自治会に対する補助拡大、歩道等交通安全施設整備、保育所(園)入園枠・選択肢の拡大をはじめ、メリットの部分も徐々に感じられるようになってきました。

それだけに、「新市の一体感の醸成」に力を入れてこられた岡村前市長の急逝は、当市にとって大きな痛手ですが、ここで立ち止まるわけには行きません。当市には前市長が端緒を開いた「3大プロジェクト」をはじめ、直面する課題が山積しています。私どもは「さらなる一体感の醸成」を図るとともに、旧両市の「良い面」を活かし、市民の皆様の声を拝聴し、課題解決に向け取り組んで参ります。

■ 支所機能の充実を

去る12月議会で、議案第148号「新庁舎の建設位置の同意について」が可決され、新市庁舎は現庁舎と市民会館がある場所に建設されることで、建設地の問題は一応の決着を見ました。

私どもはこれまで、いずれの候補地になろうとも ①計画の延べ床面積・40,000㎡にこだわることなく(機能を集約し、もっと狭くても可) ②各支所機能を強化する(1点集中型でなく、分散型の市民サービスの実施)という2点を軸に議論を進めて参りました。今後とも、この方針のもと新市庁舎建設に向けての議論に参加して参ります。

特に②について、現在、本人確認や申請が本庁舎でしか行えない手続きが見られます。テレビ(PC) 電話や指紋認証等の先進技術を取り入れ

て、市民の方がわざわざ本庁舎へ行かなくとも、各支所で各種手続きが行えるべく、取り組んで参ります。



先進技術の導入で各支所機能の充実を(写真は鳩ヶ谷庁舎)

■ 待機児童の解消を

来年度保育所(園)入所希望者の第一次選考が行われ、選考にもれてしまった保護者からは悲鳴にも似た声が寄せられています。曰く「このままだと会社を辞めなければならない」「子どもを背負って求職活動をしろと言うのか」等々。「子どもは国の宝」このまま少子化傾向が続くと、国民生活全般にわたって甚大な影響が出ることは必定です。若い世代の方が安心して子育てをできる環境整備が急務です。

民間活力の導入、休眠公共施設の利活用、基準緩和の実施等積極的な待機児童解消策が望まれます。基準緩和については、厚生労働省の最低基準面積である児童1人当たり3.3㎡(0~1歳児はふく室)を3.0㎡に、約1割引き下げただけでも、待機児童をほぼ解消できるのではと思います。

(東京都では特例として2.5㎡まで引き下げています)一時的な緊急避難的措置として面積基準緩和を実施し、その間に新たな施設・設備の充実を図るというのが得策ではないでしょうか。



川口市議会議員

光田 直之

(みつたなおゆき)

ライブアブログ「みつた直之」で検索!

プロフィール:
平成19年市議会初当選(現在2期目、53歳) 日大法卒、元・川口市役所職員
議会役職: 経済文教常任委員など
振り込め詐欺等にご注意を!
毎月20日を
「振り込め詐欺等“ゼロの日”に!

みなさん、こんにちは。

川口市議会議員・光田直之です。新たな年を迎え、皆様にはお健やかに新年をお迎えのことと存じます。今後とも、さらなるご支援とご鞭撻をお願いいたします。

平成25年度川口市一般会計補正予算並びに一般議案等を可決!

さて、去る11月29日から12月20日まで、12月議会が開催されました。今議会、予算議案につきましては、一般会計において財産管理費232億9,984万3千円、庁舎建設費655万4千円等に係る258億4,489万8千円の補正を、また、特別会計では国民健康保険事業をはじめ3会計で7億1,353万6千円の補正、病院事業で2億4,737万2千円の補正が、さらに一般議案等それぞれ上程され、いずれも慎重審議の末、原案可決をしました。



■ 12月市議会で一般質問!

今回一般質問しました内容は本市の大型事業などに向けた財源確保策、大規模災害に備えたシステム構築、特殊詐欺から市民を守るために、市立三校の再編統合など7項目。それぞれに、市長をはじめ理事者からご答弁をいただきました。(以下、抜粋)

○市民生活の安定化を目指した情報伝達等のあり方について

東日本大震災からもうすぐ3年を迎える今、地方公共団体による防災情報の提供は、主に「即時性」と「公平性」が求められる。

大規模災害などの発災直後の混乱した状況下において、同一内容の情報を複数の異なる伝達手段で一括配信するためには、情報伝達の制御システムが必須であり、既に多数の自治体において採用されている実績があるが本市に導入の可能性は?

危機管理部長答弁) 情報伝達制御システムについては、多くの対象にいっせいに情報を伝達できるなど、その効果は高い。順次、情報伝達手段の多様化に努めているところであり、これらのシステムについても、費用対効果等を踏まえ導入について検討して参りたい。

毎月20日を「川口市振り込め詐欺“ゼロの日”に!

○本市における振り込め詐欺対策について

本市では各団体・各機関等で振り込め詐欺被害を防止するための啓発活動などを実施。しかし、犯行手口はさらに巧みになり、昨年本市における振り込め詐欺の被害件数は49件、被害総額は1億202万780円。オレオレ詐欺のうち、被害者方などに現金やキャッシュカードを受け取りに来る手口が29件となっている。詐欺に遭う高齢者は「我が子を助けたい」という一心で、つい行動してしまうと思う。そういう卑劣な犯罪は本市から一切シャットアウトする!という強い意志を示さねばならない。提案として毎月20日を「川口市振り込め詐欺ゼロの日」と定め、全市を挙げてこれらの取り組みを集約させ強いアピールをしてみたいかがか?

危機管理部長答弁)

市民の方が振り込め詐欺の被害にあうことのないよう、啓発を実施することは重要なことと考えている。川口市振り込め詐欺ゼロの日の制定については、啓発方法の一つとして、今後検討して行きたい。